

「第 2 期福井市スポーツ推進計画（素案）」に関する
福井市パブリック・コメント募集の結果

【概要】

福井市では、スポーツの普及・振興を図るため、平成 26 年度に「第 1 期福井市スポーツ推進計画」を策定しました。

このたび、「第 1 期福井市スポーツ推進計画」が令和 5 年度に終了を迎えることから、本市スポーツのより一層の推進を図るため、令和 6 年度から 10 年度までを計画期間とする「第 2 期福井市スポーツ推進計画（素案）」を作成し、パブリック・コメントを募集したところ、市民の皆様から以下の御意見をいただきましたので、それに対する市の考え方を示し、公表します。

【意見募集結果】

実施時期	令和 5 年 11 月 2 日から 11 月 27 日まで	
意見提出状況	提出者	4 人
	意見数	6 件
意見提出方法	書面の持参	0 人
	郵便	2 人
	ファクシミリ	1 人
	電子メール	0 人
	その他	1 人（電子申請サービス）

【提出された意見及び意見に対する市の考え方】

第 4 章 施策の展開 「2 誰もが気軽に参加でき親しめるスポーツ機会の創出」（1 件）

No.	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	ロコモティブシンドローム、フレイル対策として、健康体操教室を開催していただきたい。 高齢者に対する基本的運動体操教室の回数が少ない。（公民館単位で年に 2～3 回）	自主的にフレイルを予防する人の増加を図るため、定期的なフレイルチェックや、継続的に「いきいき百歳体操」を行う自主グループの立ち上げ支援など、フレイル対策の体操教室開催を推進し

	<p>専門的インストラクターによる健康体操教室の開催を、週1回1時間くらいのペースで実施していただきたい。</p>	<p>ています。</p> <p>また、多くの公民館では、地域の実状に合わせて、ニュースポーツなどの健康に関する体験や講座などの健康長寿事業を実施しています。内容や回数は、館によって異なりますが、地域住民の意向なども踏まえながら、対応していきたいと考えています。</p> <p>なお、公民館では、市民の方の自主的な学びの場として、公民館のホール等の貸し出しを行っており、グループや各種団体において、健康体操等を行うことが可能です。</p> <p>このほか、毎週ではございませんが、気軽に参加できるスポーツ教室として、専門のインストラクターによる健康体操教室を実施しています。</p> <p>その他、ホームページで健康体操教室の動画配信や、他の各種健康体操等の開催情報を紹介するなど、年間を通じて体を動かす機会の創出に努めてまいります。</p>
--	---	--

第4章 施策の展開 「3 スポーツによる健康増進と共生社会の実現」 (2件)

No.	提出された意見	意見に対する市の考え方
2	<p>軽スポーツ、ニュースポーツは沢山あるが、基本となるストレッチ体操、脳トレーニングも開催していただきたい。</p>	<p>高齢者の通いの場である「自治会型デイホーム」や「よろず茶屋」等において、介護予防のストレッチ体操、脳トレーニング等を実施していきます。</p>
3	<p>健康体操運動は、怪我、病気の予防にもなる。地域から糖尿病、人工透析を減らすことが出来れば、医療費の減少につながるのではないか。</p>	<p>本市におきましても、運動やスポーツは生活習慣病の予防、更に医療費の削減などに寄与する有効な取組であると考えております。</p>

		ご意見にありますとおり、期待される具体的な効果などについても周知してまいります。
--	--	--

第4章 施策の展開 「9 スポーツボランティアの育成と参加促進」 (1件)

No.	提出された意見	意見に対する市の考え方
4	<p>ボランティア活動に参加する機会や仕掛けを作ったり、若い頃から体験するようにはしていかなければならない。具体的には、</p> <p>①スポーツボランティアを各学校に人数を割り当てて、中高生に参加を依頼してはどうか。</p> <p>②各大学に募集案内の掲出や、大学と連携して可能であれば、スポーツボランティアを何回か行うことで、単位が取得できるようにしてはどうか。</p> <p>③小学生以下には、「キッズニア」のお仕事体験のようなことを、スポーツイベントはもちろん、様々なイベント時に、コーナーやブースを作って、子供でもできる主催者側の活動（チラシ配布等）を、保護者と一緒にお手伝い参加してもらったらどうか。</p> <p>④マラソンコースの沿道で、家族や友達と</p>	<p>①マラソン大会当日は、国内外から多くのランナーが本市へ訪れることから、多くのボランティアの確保とご協力が不可欠です。そのため、県内の高校に対しても、ボランティアのご協力を依頼しております。</p> <p>また、中学生の場合は、保護者または教職員の同伴の場合に限り、参加が可能ですので、現在は直接的な依頼はしておりませんが、次回大会以降検討してまいります。</p> <p>②県内の各大学に対しても、直接訪問等により、ボランティアのご協力を依頼しております。</p> <p>ご意見のあった大学の単位取得につきましては、各大学の状況を踏まえ、検討してまいります。</p> <p>③ふくい桜マラソンでは、小学生が運営する給水・給食所（つぼみエイド）を設けることとしており、本大会を機にボランティアに関心を持っていただきたいと考えております。</p> <p>④沿道での切れ目ない応援は、ランナー</p>

<p>一緒にランナーに声援を送ったり、応援グッズなどで自分なりの応援をしてはどうか。</p> <p>⑤ボランティアの内容にもよるが、小学生も保護者と一緒にできるようにすれば、小学生が大人になったとき経験が生かされ、ボランティアに関心を持ち、参加するようになるのではないか。</p> <p>⑥各公民館を通して、各家庭にボランティア募集を行ったり、町内会、自治会毎に動員をかけるなど、行事として組み込んでもらったらどうか。</p> <p>⑦公民館講座の受講生に対して、講座毎に順番でボランティアを依頼してはどうか。</p> <p>⑧シルバー人材センターや老人福祉施設、障がい者施設などに依頼して、沿道でうちわを使った応援や応援グッズを作ってもらうなど、できる範囲でのボランティア活動をしてもらったらどうか。</p>	<p>の励みになることから、沿線住民の皆様にも、スティックバルーンやメッセージボード等の応援グッズを配布して、応援のご協力を呼び掛けているところです。</p> <p>⑤ふくい桜マラソンのボランティアは、小学生であっても保護者同伴であれば参加することが可能です。</p> <p>また、本市では、ボランティア活動に関心のある方が実際の活動に踏み出すきっかけをつくるため、スポーツに限らず環境、観光、福祉、多文化共生など様々な分野の体験型講座を実施しています。その講座の一つとして親子でできるボランティア体験も企画しております。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、将来のボランティア活動の担い手が増えるよう、子どもが体験できるような機会の創出に努めてまいります。</p> <p>⑥沿線住民の方によるボランティアにつきましては、各公民館を通して、コース沿線地区の自治会に直接訪問し依頼しています。</p> <p>また、広報ふくいなどで全市民を対象に、ボランティアの参加を呼びかけたところです。</p> <p>⑦いただいたご意見を参考に、次年度以降は実行委員会と連携し検討してまいります。</p> <p>⑧沿線の福祉施設の中には、沿道での応援に協力したいと言っている施設もございます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、次年度以降、実行委員会と連携し、福祉施設等への応援依頼を検討してまいります。</p>
---	---

	<p>⑨沿線の近隣住民、会社の社員などに対して、動員をかけてでも応援を依頼したらどうか。</p>	<p>⑨沿線住民の皆様のほか、コース沿線や周辺に所在する企業・事業所の皆様に対しても、沿道での応援をお願いしているところではあります。</p> <p>いただきましたご意見のとおり、大会の成功には、ランナーに対する切れ目ない応援や心温まるおもてなしが特に重要と考えており、今後も実行委員会と連携し、様々な機会を捉えて応援のご協力を市民に呼び掛けてまいります。</p>
--	--	--

第4章 施策の展開 「16 スポーツを通じた交流人口の拡大」 (1件)

No.	提出された意見	意見に対する市の考え方
5	<p>桜マラソンのように街中の公道を会場とするスポーツイベントは、車社会の福井では推進すべきではない。</p> <p>自然豊かな福井であるのに、なぜわざわざ街中でやるのかも疑問。何より交通網が麻痺する。</p> <p>公共交通機関等が充実しているわけでもない中、イベントは公園や体育館、河川敷で行うべきではないか。</p>	<p>ふくい桜マラソンは、北陸新幹線福井・敦賀開業を契機に、交流人口の拡大と福井の魅力を国内外に発信するため、さくらの名所100選にも選ばれている「足羽川の桜並木」など、福井の美しい桜スポットや、全国でも珍しい北陸新幹線と並走するコースとなっています。</p> <p>大会の開催に当たりましては、交通規制等でコースの沿線住民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしますが、最終ランナー通過後には、可能な限り迅速に規制を解除したいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>

その他 (1件)

No.	提出された意見	意見に対する市の考え方
6	<p>日本舞踊の藤間流を月2回習っており、体の持っていき方、指先、視線、女性らしさなど、新しいものに触れ学んでいる。</p>	<p>日本舞踊は、日本の伝統芸能であり、その習得を通して、礼儀作法が身につく、感性が豊かになるとともに、姿勢が</p>

<p>この日舞の世界を、女性や子供、高齢者等に取り入れて、健康的で充実した生活を送るためのリズムを作っていただきたい。</p> <p>また、日舞とスポーツの融合を考え、福井らしいフェニックス、紫陽花、水仙の要素を日舞に取り入れるなど、新たな視点で取り組んでいただきたい。</p>	<p>良くなるなど、健康維持のために日本舞踊を勧めている流派もあるようです。</p> <p>また、日本舞踊とスポーツの合体については、既に日本舞踊を取り入れたエクササイズを実施している団体もあり、今後、文化・スポーツを振興する上で、参考とさせていただきます。</p>
---	---